

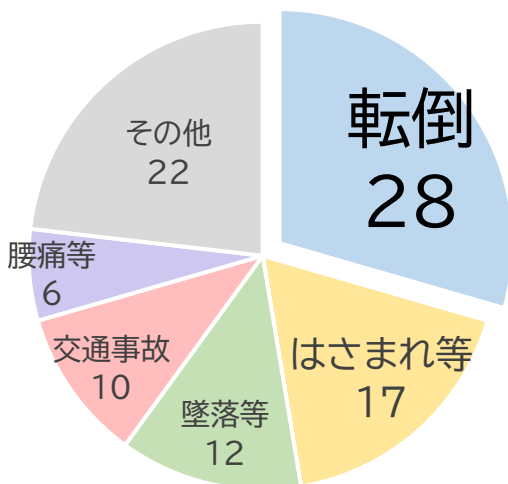
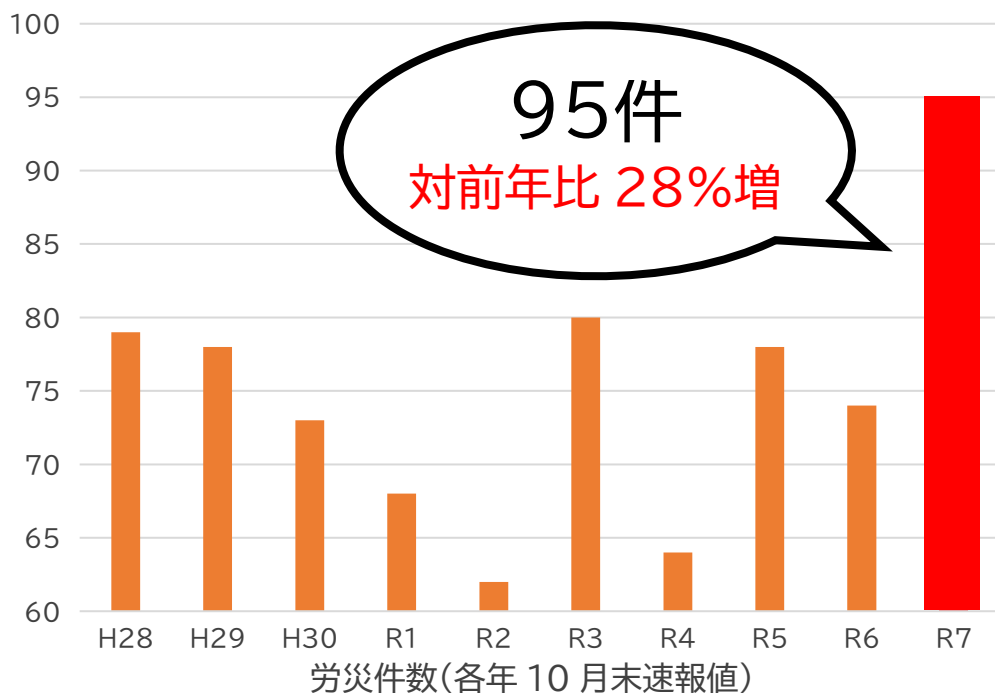


東備地区

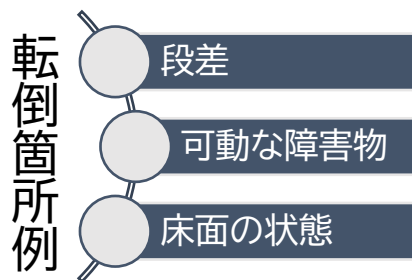
労災多発

10 月末速報値(休業4日以上。新型コロナウイルス感染症除く)

過去 15 年で最多



最多の労災は 転倒 で、
平均休業日数は 47 日です。



【転倒災害防止教材】



転倒腰痛防止
体操動画



転倒防止
リーフレット

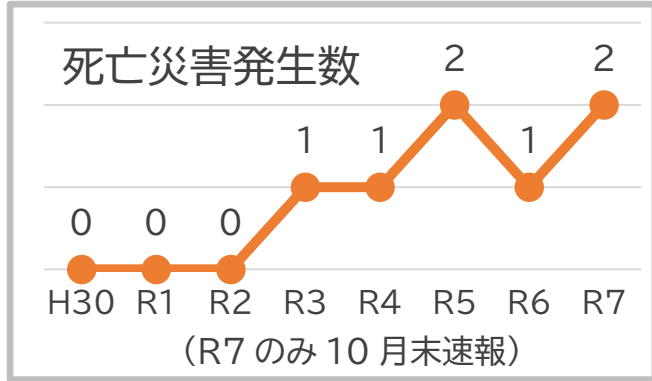


和気労働基準監督署

(R7.11)

死亡災害 増加傾向

労働災害による死亡者数は増加傾向にあり、令和7年は10月末時点で2名の方が亡くなられています。近年、一般動力機械による「はさまれ・巻き込まれ」災害、トラックによる「交通事故」災害が多く発生しているため、重点的な対策をお願いします。



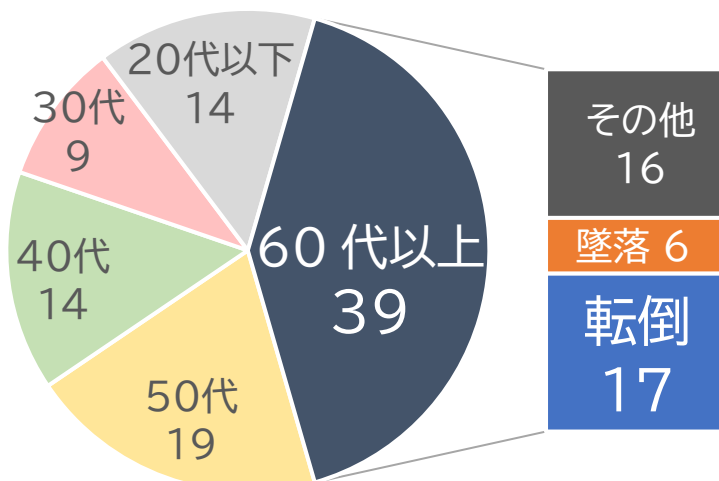
【パンフレット】事例でわかる
職場のリスクアセスメント



業種	死亡災害発生状況
化学工業	切断機で、ロール状に巻かれた廃プラスチックのシートを切断する作業中、切断機の刃部が上下する際に生じる切断機のフレームと切断機の部品との隙間に頸部を挟まれた。
商業	積載型トラッククレーンで、雨の降っている片側1車線の道路を走行中、対向してきたトレーラーが曲線部でスリップして制御不能となり、車線をふさぐようにはみ出してきたトレーラーのコンテナ部分に正面衝突し、後続車にも追突された。

エイジフレンドリーな職場づくりを！

和気署管内では、60代以上の労災が40%を占めています。高齢者や体力に自信がない人、仕事に慣れていない人を含めすべての働く人の労働災害防止を図るためにも、職場環境改善の取組が重要です。



その他
16

墜落 6

転倒
17



転倒が最多

【パンフレット】
エイジフレンドリー
ガイドライン

